

プリマハムの歩み

- 1931 (昭和6年) 竹岸政則経営による竹岸ハム商會を金沢で創業
昭和6年9月「竹岸ハム商會」の名で金沢駅前の田丸町512番地にてハム・ソーセージ製造事業を開始。
- 1948 (昭和23年) 竹岸畜産工業株式会社を設立
- 1959 (昭和34年) 本社を東京都千代田区に移転
- 1962 (昭和37年) 東京証券取引所、大阪証券取引所 各第一部に上場
- 1964 (昭和39年) サラミ農林大臣賞受賞
- 1965 (昭和40年) 社名をプリマハム株式会社と変更
食肉専用冷凍船「プリマ丸」就航
世界でも初めてといわれる長さ90m、3,000トンの冷凍食肉運搬船プリマ丸は、ニュージーランドから年間8,000トンのマトン(羊肉)を輸入。
- 1966 (昭和41年) キャラクター商品のはしりである「プリチャンソーセージ」を発売
従来の畜肉ソーセージが持つ高級品というイメージを脱して、当時国民の大半を占める低所得層をターゲットとした商品を開発。発売1ヶ月後には1日平均5万本の出荷へと爆発的な人気に。
- 1968 (昭和43年) プレスハム農林大臣賞受賞
本店を東京都千代田区霞が関に移転
- 1972 (昭和47年) 米国オスカーマイヤー社と技術・資本提携し、ハム・ソーセージの「包装革命」というべき「オーフレッシュ」を発売
オスカーマイヤー社との提携により当時としては従来品をはるかにしのぐ高品質と価格の低減を実現。独自の包装システムは個別パック化の先導的役割を果たし、業界で初めて賞味期日を打ち出し。
- 1983 (昭和58年) 東京ディズニーランドオフィシャルスポンサーに
- 1984 (昭和59年) 三重工場にて25mのジャンボソーセージを製造
三重工場が作り上げた全長25mのホットドック用ソーセージ。完成後は地元の園児たちを招いてにぎやかな試食会を開催。
- 1985 (昭和60年) 北海道工場にて世界最長10mのジャンボサラミを製造
(ギネスブックに登録)
- 1989 (平成元年) キャンペーンカー「プリマウイナー号」デビュー
親子のふれあいや子供の健康について、消費者へ提案していくために制作され、東京ディズニーランドでのお披露目後、都内の幼稚園への訪問や各イベントへ参加。
- 1996 (平成8年) 本店を東京都品川区東大井へ移転
- 2002 (平成14年) 当社主力商品である「香薫ウイナー」を発売
- 2004 (平成16年) 三重工場でISO14001認証取得
以後、2005年、2006年で拡大認証を取得し、現在の14サイト統合認証にいたる
- 2005 (平成17年) プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルスR」オフィシャルシルバースポンサーとして参加
- 2006 (平成18年) 本社機能を品川シーサイドウエストタワーへ集約
- 2007 (平成19年) ハム・ソーセージ4工場でISO22000認証取得
翌年、加工食品製造工場・物流部門で拡大認証取得(計26事業所)
- 2010 (平成22年) プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルスR」オフィシャルゴールドスポンサーとして参加



竹岸ハム商會



プリマ丸



プリチャンソーセージ



オーフレッシュ



25mのジャンボソーセージ



プリマウイナー号



香薫ウイナー

編集後記

本報告書をご覧いただき、ありがとうございました。
今年度は、「なくてはならない会社」を目指しプリマハムを盛り上げている若手従業員を中心に取り上げながら、私たちの現在の姿をお伝えしたいとの思いで編集作業を進めてきました。来年創業80周年を迎えるわけですが、これまでの歴史

を踏まえつつ、新しいプリマハムを私たちがつくっていかねばと、改めて感じた次第です。
今後も皆さまのご意見を踏まえながら、取り組みと情報開示を進めていきたいと思いますので、アンケートページにて忌憚らないご意見をお寄せいただければ幸いです。